

2014 年度 東京 SJCD 第 1 回例会・懇親会のご案内

陽春の候、会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて来たる 6 月 1 日に開催されます 2014 年度、東京 SJCD 第 1 回例会につきましてご連絡申し上げます。今回はインサーストレーニングとして、米国、ワシントン州よりペリオ・インプラント専門医の秋本健先生をお招きし、インプラント治療において、特に抜歯から最終補綴まで、いかに周囲組織のダメージを軽減し予知性の高い結果を獲得していくのか。実験データを踏まえたうえで、誰が行っても治療結果の向上が得られる理論・技術に関して臨床的な観点から解説して頂きます。さらには昨今、注視されておりますインプラント周囲炎の解決策についても言及していただきます。そして午後からは東京 SJCD 会員の 3 名の先生によるケースプレゼンテーションを行います。  
また例会終了後、本年も懇親会が行われます。是非、皆様お誘い合わせの上ご参加頂けますようお願い申し上げます。

※本年度からクレジットカード付会員証が入場証となります。必ずご持参いただきますようお願いいたします。会員証作成はお済みでない方は株式会社クレディセゾン 03-5319-1141 担当：岡野・永原までご連絡をお願いいたします。

**日時** 2014 年 6 月 1 日（日） 受付開始 9:30 / 開演 10:00~17:20

**会場** 都市センターホテル/コスモスホール 3F

**懇親会会場** 17:40~ / 都市センターホテル オリオン 5F

**所在地** 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1 **TEL** 03(3265)8211

**~~講演~~ インサーストレーニング**

Implants in the Esthetic zone – What we know and what we don't know

ワシントン州 Northwest Periodontics & Implants 秋本 健先生

**~~ケースプレゼンテーション~~**

「重度歯周疾患患者に対するオクルーザルリコンストラクションの 1 例」

ウイステリアデンタルクリニック 佐藤博宣 先生

「矯正治療と Minimal Intervention な歯冠修復にて対応した矮小歯を伴う前歯部開口症例」

医療法人社団 Teeth Alignment AQUA 日本橋 DENTAL CLINIC 綿引淳一 先生

「フルマウスリコンストラクションにおける機能と審美獲得の為のチームアプローチ」

高田歯科医院 高田貴虎先生

**Ken Akimoto, DDS, MSD**

**Private practice limited to Periodontics and Implant. Issaquah, WA**

**Affiliate Assistant Professor, University of Washington, Graduate Periodontics**

**Education and work experience**

- 1983-89 Tokyo Medical and Dental Univ. School of Dentistry**
- 1989 DDS degree**
- 1989-95 Private Practice in general dentistry, Tokyo Japan**
- 1995-98 University of Washington, Graduate Periodontics**
- 1998 MSD degree**
- 1998 Board eligible, American board of Periodontology**
- 1998- Private practice limited to Periodontics and Implants, Tokyo Japan**
- 2000 Diplomate, American board of Periodontology**
- 2000-2004 Visiting lecturer, Tokyo Medical and Dental University, Department of Periodontology**
- 2003 Private practice limited to Periodontics and Implants, Bellevue, WA**
- 2003 Faculty, University of Washington, Graduate Periodontics**
- 2007 President, Washington State Society of Periodontists**
- 2007 Affiliate Assistant Professor, University of Washington**
- 2009 Fellow, International Team of Implantology (ITI)**

前歯部の欠損を治療するにあたって、インプラントを活用して行うには、インプラントと周囲組織が調和的に共存できるような環境を作ることが必要になる。審美性を要求される前歯部の治療は難易度が高いが、歯科治療が医療である以上、治療結果が術者の卓越した技術や能力（いわゆる名人芸）で大きく左右されるのではなく、ある程度のトレーニングを受けた人間ならだれでも一定の結果を出せることが要求されるのは当然であろう。近年、歯を抜くことや、インプラントの存在が周囲組織に及ぼす影響に関する研究が多数行われ、報告されている。自分はこのような実験研究の結果を、臨床の視点から考えてなるべく普遍的な理論と考察過程を理解して実際の治療に応用することこそが、治療結果の再現性や予知性を向上させる鍵と考えている。これらを参考にして、抜歯からインプラント補綴に至る過程でどのようにすれば周囲組織の変化を最小限にできるのかを考察し、自分なりの現時点での解決案を提示する。

後半では、インプラント周囲の炎症とその対策について、解説したい。